



梅雨入り後の月曜日は真夏日で、暑い一日でした。園庭での体育や外遊びも20分程度に限定しています。小さい子どもは汗をかくことを厭わず、遊び続けてしまいます。ご家庭での外遊びの際も、水分補給や汗をしっかりと拭くことを心掛けて、暑さと上手に付き合っていくようにしてください。

さて、今回は奥田健治先生の『子育てのほんとうの原理原則』をテーマに皆さまに考えてもらおうと書いてみます。この本の帯に「もうムリ、助けて、お手上げ」をプリンシプルで解決、と書いてあります。

家庭に、子育てに関する原理・原則＝プリンシプルをもと、いつどんな時も、都合や気分にも、世間の風潮にも惑わされず、一貫した態度で子どもに接すること。親に求められるのは、「これだけは我が家の決め事にしよう」というルールを決め、守る態度です。

例えばお菓子は1個だけ、YouTubeは親と一緒に5分だけと決めたら、徹底してそれを守り抜くのです。たかが1個が、子育てがうまくいか行かないか、の大きな分かれ道だと奥田先生は書いています。

もう1個欲しい、となれば「キーーーーー！」と金切り声を発する、泣き続ける。でも「キーーーーー！」で要求が叶うと、将来、ちょっと気に入らないことがあるとこの声を発し、要求が通らないとキレる子になってしまいます。そういう問題をはらんでいるのです。キレて親を脅しているのです。

「キーーーーー！」はお母さんの「弱み」。「弱み」を持っていると、子育ては不利になってしまいます。「やるならやってもいいけど、必ず損をさせること」という親の新しい姿勢が大切です。

この、例にあげた子どもは「キーーーーー！」と言えば親が言うことを聞くということを学んでいます。この手が通用するのを経験すれば、何度でも同じことを繰り返し、要求はどんどんエスカレートするものです。子どもが社会に出て困らないように「それはいけないこと」と小さいうちから教えておかなければならないことはたくさんあります。

子育ては手がかかることです。今の日本はお母さんも働かなければいけないようになっていますから、手がかかるのに、手がかけれない状況であることは私達にも十分わかっています。でも、手を掛けずに、

放っておいて社会に適應できるいい子に育つなんてことはありません。手がかからない子なんていないのです。

「家庭のルールづくり」をすると、お母さんの子育てでは昨日よりも倍以上たいへんになります。YouTubeと一緒に5分だけ見ることも、だめなものはだめ、を徹底することも、根気がいるし、面倒なことでしょう。

でも子どもがルールを守れたら、ちょっとではなく、めっちゃうちに褒めてあげてください。盛大に喜んであげないといけない。子どもはルールを守るという大変なことをやってのけたのです。それが「とても素晴らしいこと」というのを、子どもに伝えることが必要なのです。

幼稚園は集団生活で、わがままは通用しないところ、と子どもたちもわかっている、6月にもなれば集団生活にも慣れ、振舞い方もわかってきます。ところが家庭に戻ると、王子様とお姫様ばかりのようですね！家庭でわがまを言っているのは片目くらいづりますが、家庭と同じように我を通そうとする子が時々います。泣き喚いて要求を通そうとします。でも、主導権は当たり前ですが、先生にあります。幼稚園にもルールがあり、決まりは子どもではなく先生が決め、子どもは守らなければいけないからです。特別はありません。一貫しないと、命にかかわることにもなりますし、子ども達全員に迷惑をかけてしまいます。幼稚園はそういう覚悟を持っていることも、知っておいて欲しいことです。

園長 志田裕美子

## <年長組今月の目標>

- 健康・・逆上がりに繋がる活動を経験し、自ら鉄棒に触れる機会を持つ
- 人間関係・・友だちの思いを受け入れて、同じ目的を持って遊びを進める
- 環境・・野菜の栽培を通して、様々な植物の成長を知り、収穫の喜びを知る
- 造形・・絵手紙、描画
- 言葉・・発表の際は「です」「ます」まできちんと丁寧に言える
- 音楽・・「トレロカモミロ」「南の島のハメハメハ大王」「手のひらを太陽に」

## <担任からのメッセージ>

6月なのにも関わらず体力が奪われる程の暑さが続いていますね。梅雨はいつやってくるのでしょうか…。

先日はファミリーデーにお越しいただきありがとうございました。プレゼントのうちわ作りでは、「パパは赤が好きだから赤色の洋服にしよ～」  
「家族みんなの顔を作ってみようかな～」

「買って欲しいものを書いてお願いしてみようかな」と、一人ひとりがゆっくり時間を掛けて作っていました。色々な思いが詰まった世界に一つだけのうちわを受け取ったお家の方の表情は、優しく愛が溢れていてこちらまでほっこり温まりました。

ゲームは、鳴き声ゲーム、動物レースと2つ行ないましたが、子ども達はもちろんお家の方も全力で参加してくださり、冷房が付いていたにも関わらず部屋は熱気でムンムンでしたね。

歌のプレゼントはいかがでしたか？

「大きい組になると長くなって難しくなるんだね～」  
「覚えられるかな～」と呟く子どもチラホラいましたが、間違えても良いから目を見て心を込めて歌うことを大切に日々歌っていたので、当日は心のこもった歌をお届けできたのではないのでしょうか。

ここ1週間少し風邪気味で思うように声が出ず、私の声が聞き取りづらかったかと思いますが、そら組のみんなやお家の方々の盛大な盛り上がりのおかげで最後まで笑顔に包まれた参観でした。

最近のそら組はアゲハ蝶を育てています。蝶々になったら外の世界へと帰すので幼虫から蝶々になるまでの期間なのですが、

「大きくなって！」

「脱皮した！」

「蛹になった！」と、毎日アゲハ蝶博士達が成長を見守ってくれています。名前もぷりんちゃん、いちごちゃん（また新たにやってきた幼虫はこれから名前を付けます）と名付けて幼虫達も順調に育ち、ぷりんちゃんがやっと蛹になったのですが、4日程経ったある日なんだか蛹が黒くなっている様な気がして様子を見て

いると中から蝶々とは違った虫が出てきました。調べてみたらハエの幼虫だそうで…アゲハ蝶の幼虫がまだ小さい時に体に卵を産んでしまうそうなのです。そうになると蝶々になることは叶わずそのままお亡くなりになってしまいます。この事実をみんなに伝えた時は誰一人話すことなく私の話を静かに聞いていました。なかには、「寂しいけどハエも生きる為にやったんだもんね」と言っている子もいて、改めて命の大切さをみんなでも学びました。

その後いちごちゃんが蛹になり、順調に蝶々まで育ちました！（ファミリーデーの翌々日に産まれました！）この文章を書いている時はまだみんなにいちごちゃんを見せられていないので、どんな反応をするのかワクワクしています！

砂場遊び、ぬたくりを終えるとあっという間に7月に入り、夕涼み会です。まだまだ夏休みまで盛りだくさんですが、体調を崩すことなくみんなに参加できるよう、体調管理には気をつけて過ごしていきましょう。

※お持ち帰り頂いた朝顔ですが、「摘心」をすると、よりつるが伸び葉も増えやすくなるそうです。詳しくはGoogle先生を頼ってみてください。

若槻 菜美

